

## 蓄電技術など

### 6テーマ報告

#### 県工技センター

徳島県立工業技術センターの研究成果を発表する「2012年度地域産業技術セミナー」が6日、徳島市の同センターであり、リチウムイオン電池を用いた応用製品の開発技術など6テーマに約60人が耳を傾けた。

太陽光で発電した電力をリチウムイオン電池に蓄電し、災害時救援型自販機に使用する「多機能防災システム」について、災害情報などを流すメッセージボードと、自販機内の飲料を無料で取り出す「フリーベンド」は利用できるが、冷温機能までは賄えなかったと報告。

担当者は、要因として市場販売されている電力交換装置を用いたため、交換容量が小さかったことを挙げ、「容量を大きくするとともに、太陽光

発電の売電用パワーコンディショナーを組み込んだ変換器を開発したい」と話した。

このほか、LED応用製品性能評価装置やスタチ果皮ポリフェノール（スタチチン）の抗糖尿病作用などについての報告があった。（林啓二）